

まちの話題



ISA City Topics



地元歴史家が図る 大口城の再興

3/8



大口城を愛する会のメンバーら 24 人が、大口城跡地に桜木約 150 本を植樹しました。大口城を愛する会は、地権者の許可を得て、2016 年から大口城の発掘調査と跡地整備をボランティアで行っており、これまで 162 回の活動に延べ 1,068 人が参加しています。

大口城は新納忠元公も城主を務めた歴史ある山城で、城跡の調査は関白豊臣秀吉の薩摩侵略（九州御動座）の全容解明にも繋がると思います。

新東晃一会長は「郷土の歴史を掘り起こし、大口城跡を桜の名所として市民の憩いの場にしたい。桜木オーナーを募集したところ、多くの人にご賛同いただきありがたい」と話しました。

私たちが 伊佐の魅力を伝えます！



3/2

令和 2 年度伊佐市 PR レディ・ボーイに選ばれた 3 人（左から：中村勇太さん 千鳥恋さん 脇迫里帆さん）に、委嘱状が交付されました。3 人には、市内外のイベント等で伊佐の魅力や特産品を広く発信していただきます。

3 人は「選んでいただき光栄です。伊佐をどんどんアピールしていきます」と笑顔で話し、市長は「みなさんの魅力が伊佐市の印象に繋がる重要な任務ですが、まずは楽しむ気持ちを持ち忘れないで」とアドバイスを送りました。

新 1 年生、 交通ルールを守ろうね

3/5



伊佐市トラック協会の関係者が教育長を訪問し、交通ルールが記載された定規を 210 本贈呈しました。

この定規は、4 月に市内小学校に入学する新 1 年生にプレゼントされます。

そば打ちに挑戦

2/20



大口東小学校の6年生児童10人がそば打ちを体験しました。

これは、同校の卒業生で、現在徳辺で蕎麦屋を経営する北渡瀬敏三さんが「母校に恩返ししたい」との気持ちで始められて、今回で6回目の開催。

児童は、そば粉を手でこねて棒で伸ばした後、包丁で切って完成させました。「固くて力を入れたら破れそうになって怖かった」「均等に切るのが難しかったけど、初めての経験で楽しかった」と話し、自作のそばで舌鼓を打ちました。

プールでニジマス釣り

2/16



曾木小学校のプールで、ニジマス釣り大会が開催されました。ニジマスは、昨年10月に500匹の稚魚をプールに放流し、児童らがエサやりをして飼育したものです。

参加した児童や保護者、曾木校区コミュニティ協議会の関係者らは、とうもろこしやソーセージを餌にして釣りを楽しみました。あいにくの雨のため、なかなか釣り上げることができず苦戦している姿も見られましたが、体長20cmほどの“大物”が釣れた時には大きな歓声が上がりました。

会場では、ニジマスの塩焼きやおにぎり、豚汁が振る舞われ、参加者の冷えた体を温めました。

手作りのつるし雛で伊佐を飾る

2/23~3/3



商工会女性部のみなさん



マスコットキャラクター

メイン会場の作品

「伊佐のひなまつり 福かざり」が開催され、大口と菱刈の商店街の店舗を中心に、市内100会場以上で手作りの福かざり（つるし雛）が展示されました。

市商工会女性部の川原秀子部長は「地域を盛り上げたいという思いからはじめた福かざりも、おかげさまで10回目を迎えることができました。近年では、市内だけでなく県外からもたくさんの方々が観にきてくださり、とてもありがたいです」と話しました。

展示された福かざりは、月2回の福かざり教室で市商工会女性部の有志メンバー36人が1点1点手縫いで作り上げた作品です。手書きの展示会場マップを配ってスタンプラリーを行うなど、多くの会場を訪れてもらえるよう工夫しました。

福かざり教室で講師を勤める園田真由美さんは「最初は孫のために自宅で細々と作っていましたが、頼まれて人に教える



園田さんの作品

ようになり、いまでは商工会を挙げてのお祭りになって大変うれしいです。福かざりは、生地の種類や色の選択、中綿の詰め方に作者の個性が出るので、どんな人が作ったのか想像しながらお気に入りの作品をみつけてください。来年もできる範囲で続けていきたいです」と話しました。